

要望書

一般社団法人
日本スノースポーツ&リゾート協議会
会 長 北 野 貴 裕

1. スノースポーツの場であるスキー場は雪国の過疎地域や中山間地の基幹産業であり、貴重な雇用の場所でもあります。
2. スノースポーツ人口の減少により、赤字経営のスキー場が多く、老朽化した施設の保守改修に追われ、新設索道施設の建設等については難しい状況です。
3. 経営を維持し、雇用の場を確保する為には国内のスノースポーツ人口の増加と、海外からのお客様に満足して頂き、世界に誇れるパウダースノーを楽しみリピーター化に繋げること、グリーンシーズンの誘客もあわせて確保することが急務です。
4. 近年、世界各国から、スノースポーツ目的のお客様が増加しております。雪質には高い評価をいただいておりますが、リフトやゴンドラなどは老朽化したものも多く、海外と比べ大きく見劣りしております。世界から選ばれる国際基準のリゾートとなるためには、より快適にスノースポーツと日本の魅力をお楽しみ頂ける環境と、食や文化など日本の魅力をお楽しみ頂ける環境を整備することが必要です。
5. 2022年北京冬季オリンピックも大きなビジネスチャンスになります。
6. スノースポーツは宿泊が基本となる唯一の生涯スポーツです。スキー場のみならず、地域全体の多方面に亘る地域活性化への経済効果は大です。
7. 生涯スポーツとしてのスノースポーツは、世界各国の子供達の教育を含め、幅広い年齢層の皆様にご満足頂ける施設、モノ、場、サービスが必須で、それを整えることがリピーター化に繋がります。
8. これらを踏まえ、海外からより多くのお客様に来て頂くため、国際観光旅客税が創設されたこの機会に、索道施設の更新、インバウンド受入環境の整備、インストラクター等の人材の確保及び育成、アフタースキーのコンテンツづくり、海外からの来訪者及びスノースポーツを取り巻く環境の実態調査など、魅力的なスノーリゾートを形成するための取組に対する支援制度の創設を、是非お願いします。